

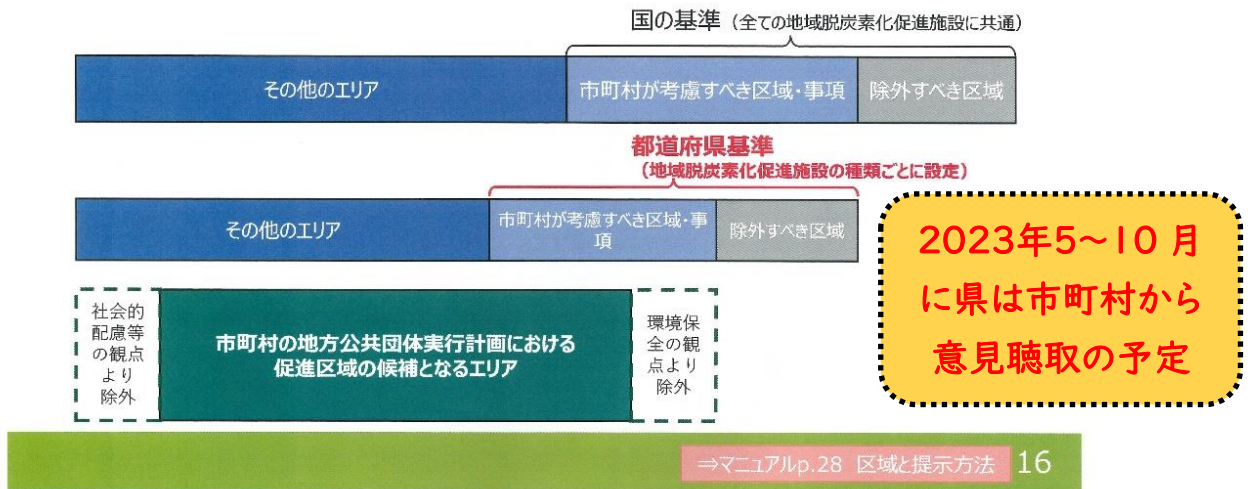
資料1 地域脱炭素促進区域の設定(都道府県の場合)

地域脱炭素のための促進区域設定等に向けたハンドブック(第1版)2022年1月環境省から

2.1.1/2.2.1 都道府県基準とは - 都道府県基準の区域と提示方法



- ・ 収集した情報に基づいて、都道府県基準では以下を整理して示します。
 - ・ 促進区域に含めることが適切でないと都道府県が判断する区域(除外すべき区域)
 - ・ 促進区域の設定に当たって考慮することとする環境配慮事項(市町村が考慮すべき区域・事項)
 - ・ 考慮することとする環境配慮事項に係る適正な配慮のための考え方等



資料2 住宅の省エネ性能に関する基準の例

とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-ST」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/308449.htm>) から

区分	国の省エネ基準	ZEH(ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
基準の説明	2025年義務化基準(H11年策定)	2030年義務化基準	冷暖房費を抑えるために必要な最低限レベル	経済的で快適に生活できる推奨レベル	優れた快適性を有する最高レベル
断熱性能 U_A 値	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
最大補助額(ZEHではない場合)	—	—	60万円(10万円)	80万円(30万円)	100万円(50万円)
世界の省エネ基準との比較	寒 ●日本(0.87)	●日本(0.87)	●日本(0.87)	●フランス(0.36) ●ドイツ(0.40) ●英国(0.42) ●米国(0.43)	暖

※断熱性能(UA値):建物内の熱が外部に逃げる割合を示す指標。値が小さいほど熱が逃げにくく、省エネ性能が高い。
 ※気密性能(C値):建物の床面積当りの隙間面積を示す指標。値が小さいほど気密性が高い。
 ※「住まいる」とは“とっとり住まいる支援事業”の略称。県内工務店により一定以上の県産材を活用する木造戸建て住宅が対象となる補助金。
 ※ZEHは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。断熱化による省エネと太陽光発電などの創エネにより、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅をいう。